



令和7年6月号
学校だより

五凜学園

寝屋川市立第五中学校

みんなで考え・行動した「修学旅行」 ～2泊3日 ひるがの高原・飛騨高山方面～

第3学年は5月28日(水)～31日(金)の2泊3日で岐阜県ひるがの高原・飛騨高山方面への修学旅行を実施しました。

春から各クラスで宿舍割りやバス座席などを決めたり、ラフティング班やアクティビティー体験の選択、高山での班別行動のいろいろな計画を立て、修学旅行実行委員会での話し合い、持ち物やルールの確認、また係の打ち合わせを重ねて当日を迎えました。

1年、2年とこれまで様々な行事に取り組んできた、その集大成がこの修学旅行、ひとり一人がその意義をよく考え「自分たちで作り上げる」という強い意志をもって取り組もう！という目標を掲げました。

1日目は学校集合後に出発式を終えてバスに乗車、名古屋水族館に向かいました。現地では何頭ものイルカが繰り広げるダイナミックなショーを楽しみながらのお弁当タイム。その後、班行動で館内の様々な海の生き物を鑑賞できました。

ひるがの高原のホテルは冠雪残る白山を一望できるロケーション、貸切全体泊ということで夕食は広い会場でバイキングの食事をたっぷりいただきました。学年全体での夜レクでは、レク係や有志の出演者が多くの時間をかけて練習、準備してきたものです。漫才、ダンス、寸劇のクオリティーは素晴らしく、その場の生徒・先生方も一緒になって大いに盛り上がりました。

2日目は長良川でのラフティングです。新緑まぶしい景色を眺めながらの川下り、急流ではキャーキャーと声を上げながら仲間と協力して漕ぎ進み、緩やかなところ



では心地よい風に吹かれて最高の思い出となりました。

午後はシャワークライミング、マウンテンバイク、ジップライン、オルゴールづくりなど、インストラクターの指導を受けて、個人別選択体験を思い思いに楽しみました。

2日目の宿舎はクラス分宿となり、入浴・夕食後はクラスレクも行いました。

夕方から天気が崩れ、次の日が心配されましたが夜間に降った雨もやみ、3日目の朝は青空がのぞく晴天に恵まれました。高山市内に到着すると、班別のウォークラリースタートです。飛騨高山の古い街並みや朝市を歩きながら、お土産を選んだり、みたらし団子、飛騨牛のにぎり、ソフトクリームなどなど、おいしいものがいっぱい。班行動でチェックポイントを巡りながらミッションをこなし、あっという間の3時間でした。

行きも帰りも道路の交通渋滞もなく、とても順調に進むことができ、予定通りの17時着で帰校しました。

今回の修学旅行では、様々な人と出会い、仲間とともに寝食を共に過ごす経験を通してさまざまな気づきがあったと思います。また、「自ら考えて行動する大切さを学ぶ」ことを目標にかがける五中生として、この修学旅行を今後の学校生活に活かしてほしいと願っています。

関西万博校外学習(5月7日)

1・2年生が校外学習で大阪・関西万博を訪れ、大阪ヘルスケアパビリオンを見学しました。テーマは「いのち輝く未来社会」。最新の医療や健康に関する展示が盛りだくさんで、見るものすべてが新鮮！パビリオン内では、映像や体験コーナーを通じて、未来の医療やテクノロジーにふれながら楽しく学ぶことができました。驚きと発見がいっぱいの、充実した校外学習となりました！



ハートプログラム(5月8日)

五中と神田小・和光小の5-Go委員会の児童生徒を対象に、学年や学校の垣根を越えて協力し合うグループワークやアイスブレイクゲームを行いました。初めは少し緊張していた様子の児童生徒たちも、活動を通して徐々に打ち解け、互いの話に耳を傾けたり、自分の考えを伝え合ったりする姿が多く見られました。

「人の話を最後まで聞くことの大切さがわかった」「初めて会った人とも協力できてうれしかった」「中学生のリードがかっこよかった」など、参加した児童生徒からは前向きな感想が多数寄せられました。

今回のプログラムを通して、子どもたちは学年の違いを超えた交流を深めるとともに、他者とつながることの喜びや、自分が誰かの支えになれる可能性を実感する貴重な機会となりました。

今後も、地域の小中連携を活かしながら、心豊かなリーダーの育成に取り組んでまいります。

第一回学校運営協議会を開催(5月21日)

本校会議室にて、令和6年度第1回学校運営協議会を開催しました。今回は、保護者、地域、学校関係者など12名の委員が出席し、「めざす子ども像」や「学校経営の重点」などについて活発な協議が行われました。

五中校区は、3校で1つの学校運営協議会を設置し、地域全体で子どもたちの成長を支える取り組みを進めています。会議では、学校からの報告や課題の共有のほか、委員の皆さまから、地域の特性を活かした支援や、安心・安全な学びの環境づくりに関する貴重なご意見をいただきました。

学校と地域が連携し、「子どもたちのためにできること」を共に考え実践していくことで、よりよい教育環境が生まれます。今後も協議会の取り組みを通じて、地域とともに歩む学校づくりを進めてまいります。

